
H29 外環整備効果検討業務

報 告 書

平成 30 年 3 月



パシフィックコンサルタンツ株式会社

目 次

1. 業務概要	1-1
1.1 業務目的	1-1
1.2 委託業務の概要	1-1
1.3 対象範囲	1-2
1.4 業務内容	1-3
1.5 実施方針	1-4
1.5.1 計画準備	1-5
1.5.2 道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理	1-5
1.5.3 最新の交通状況を踏まえた広域的・地域的な交通課題の把握	1-5
1.5.4 東京外かく環状道路(関越～東名)の整備に伴う整備効果の整理	1-5
1.5.5 ストック効果の基礎情報整理	1-6
1.5.6 沿線地域における基礎情報整理	1-6
1.5.7 報告書作成	1-6
2. 道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理	2-1
2.1 首都圏における高速道路の交通状況変化	2-1
2.1.1 高速道路ネットワーク開通、料金改訂状況	2-1
2.1.2 開通、料金改訂前後の交通量、速度の変化	2-3
2.2 公表資料の整理	2-7
2.2.1 圏央道記者発表資料	2-7
2.2.2 高速道路の渋滞ワーストランキング	2-8
3. 最新の交通状況を踏まえた広域的・地域的な交通課題の把握	3-1
3.1 広域的な視点	3-1
3.1.1 圏央道内側の交通量	3-2
3.1.2 首都高のボトルネック箇所	3-4
3.1.3 圏央道内側の交通状況・課題(災害時における代替路)	3-6
3.1.4 空港・港湾における交通課題	3-10
3.1.5 広域的な視点の課題に対する要因	3-21
3.2 地域的な視点	3-26
3.2.1 沿線地域の産業特性および企業活動における課題	3-26
3.2.2 沿線7区市の特性	3-140
3.2.3 環八の交通状況	3-144
3.2.4 地域的な課題に対する要因	3-153

4. 東京外かく環状道路(関越～東名)の整備に伴う整備効果の整理	4-1
4.1 広域的な視点	4-1
4.1.1 環状道路機能の発揮（通過交通の排除）	4-1
4.1.2 環状道路機能の発揮（分散導入効果による首都高ボトルネック箇所の改善）	4-4
4.1.3 災害時のリダンダンシー確保	4-5
4.1.4 空港、港湾から背後圏へのアクセス向上	4-7
4.1.5 企業活動の支援	4-11
4.2 地域的な視点	4-13
4.2.1 沿線住民の高速道路へのアクセス向上	4-13
4.2.2 沿線人気スポットへのアクセス向上	4-22
4.2.3 救急医療への支援	4-24
4.2.4 災害時における緊急物資輸送の支援	4-29
4.2.5 抜け道における事故の緩和	4-32
4.2.6 抜け道におけるバスの定時性向上	4-34
4.2.7 抜け道における通学路の安全性向上	4-35
4.2.8 抜け道における生活道路の安全性向上	4-36
4.2.9 子育て世代への寄与(総合公園の選択肢増加)	4-37
4.2.10 環八の交通量転換による速度向上効果(試算)	4-39
5. ストック効果の基礎情報整理	5-1
5.1 沿線地域の事業所立地状況の整理	5-1
5.1.1 沿線地域の事業所立地状況	5-3
5.1.2 生産拠点の立地状況	5-8
5.1.3 物流拠点の立地状況	5-23
5.2 立地ポテンシャルの推計	5-34
5.2.1 立地選択モデル	5-34
5.2.2 立地ポテンシャルの推計結果	5-36

6. 沿線地域における基礎情報整理	6-1
6.1 沿線地域の施設の立地状況	6-1
6.1.1 学校	6-2
6.1.2 幼稚園、保育園	6-5
6.1.3 児童福祉施設	6-8
6.1.4 医療機関	6-11
6.1.5 警察署	6-14
6.1.6 消防署	6-17
6.1.7 避難施設	6-20
6.1.8 国都道府県の機関	6-23
6.1.9 市区町村役場、行政窓口の機関	6-26
6.1.10 公的集会施設	6-29
6.1.11 集客施設	6-32
6.1.12 文化施設	6-35
6.1.13 文化財	6-38
6.1.14 都市公園	6-41
6.1.15 郵便局	6-44
6.1.16 地場産業関連施設	6-47
6.1.17 老人福祉施設	6-50
6.1.18 障害者支援施設	6-53
6.1.19 研究機関	6-56
6.1.20 物流拠点	6-59
6.1.21 上水道関連施設	6-62
6.1.22 下水道関連施設	6-65
6.1.23 燃料給油所	6-68
6.1.24 廃棄物処理施設	6-71
6.1.25 発電施設	6-74
6.1.26 ヘリポート	6-77
6.2 沿線地域における道路利用状況	6-80
6.2.1 平日の状況	6-86
6.2.2 休日の状況	6-90

1. 業務概要

1.1 業務目的

本業務は東京外かく環状道路（関越～東名）事業箇所における現況の交通課題及び将来における社会経済状況を把握・整理した上で、本事業の整備効果について検討を実施するものである。

1.2 委託業務の概要

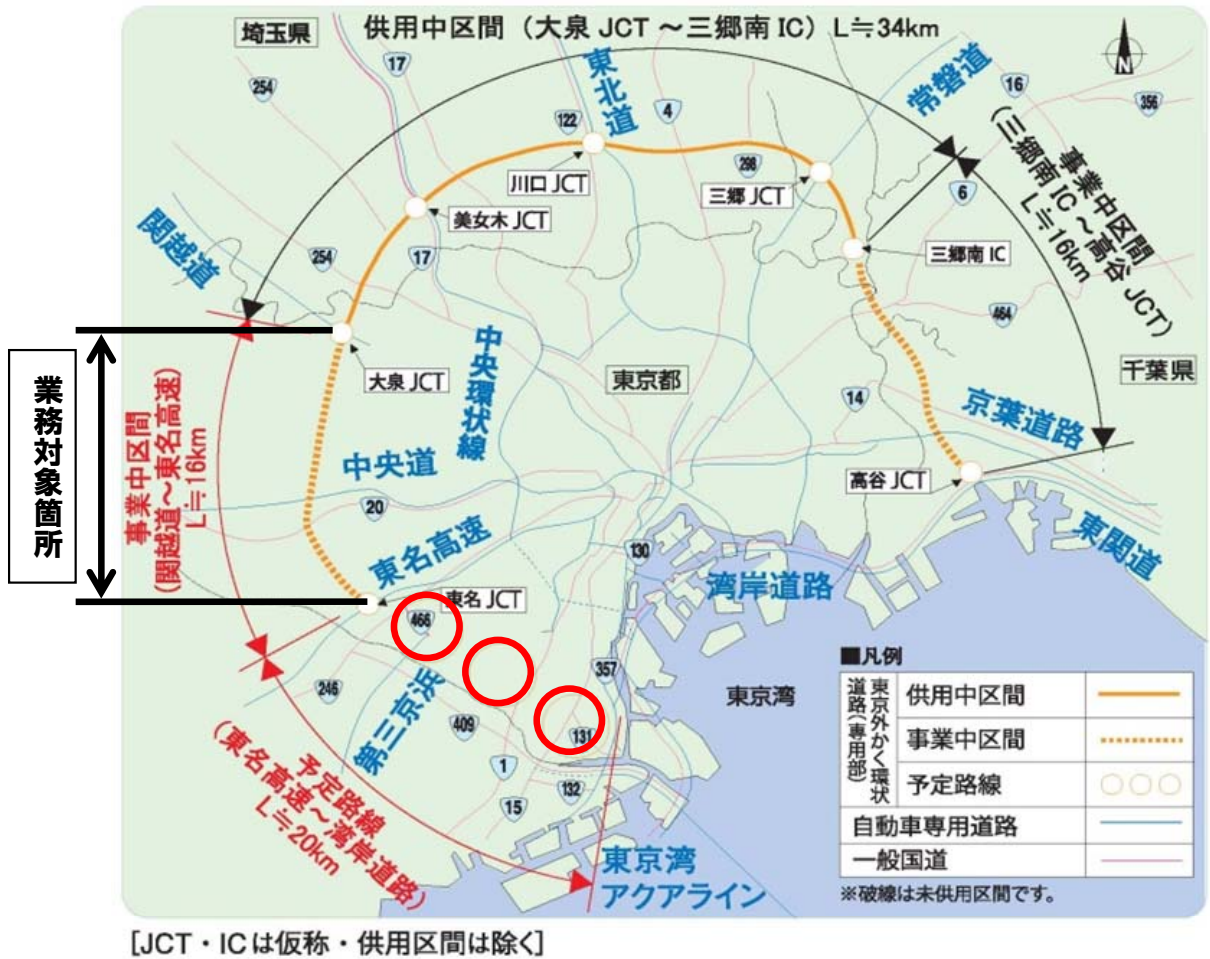
本業務の業務名、業務履行範囲、業務履行期間、発注者、受注者を以下に示す。

表 1.2-1 業務委託概要

業務名	H29 外環整備効果検討業務
履行範囲	東京外かく環状道路（関越～東名）
履行期間	平成 29 年 5 月 16 日～平成 30 年 3 月 31 日
発注者	国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社

1.3 対象範囲

本業務の履行範囲は以下の位置図に示す。



出典：国土交通省関東地方整備局 HP より作成

図 1.3-1 本業務履行範囲位置図

1.4 業務内容

業務内容を以下に示す。

表 1.4-1 業務内容

項目・工種・種別・細別	単位	数量
・計画準備	式	1
・道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理	式	1
・最新の交通状況を踏まえた広域的・地域的な交通課題の把握	式	1
・東京外かく環状道路（関越～東名）の整備に伴う整備効果の整理	式	1
・ストック効果の基礎情報整理	式	1
・沿線地域における基礎情報整理	式	1
・打合せ	回	5
・報告書作成	式	1

1.5 実施方針

業務の実施方針は、以下に示すとおりである。

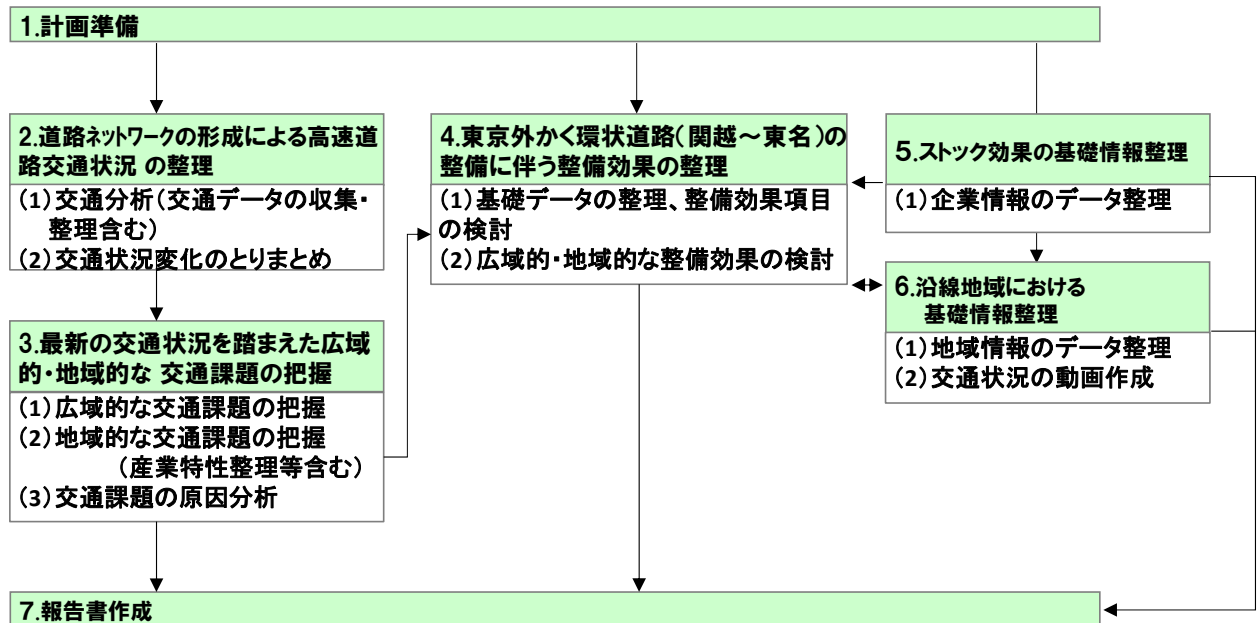


図 1.5-1 業務フロー

1.5.1 計画準備

本業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

1.5.2 道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理

圏央道より内側の高速道路について、平成 29 年 2 月の圏央道（境古河～つくば中央）及び東京外環自動車道の料金改訂、平成 29 年 3 月の横浜環状北線の開通に伴う交通状況の変化について整理・とりまとめを行うものとする。整理・とりまとめの詳細については調査職員と協議するものとする。

1.5.3 最新の交通状況を踏まえた広域的・地域的な交通課題の把握

東京外かく環状道路（関越～東名）沿線の広域的・地域的な交通課題を最新の交通観測データを利用した上で把握・整理し、それらの課題について原因の分析を実施するものとする。

1.5.4 東京外かく環状道路（関越～東名）の整備に伴う整備効果の整理

1.5.3 で把握した交通課題に対して、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備がもたらす影響を分析・検討するものとする。

分析・検討にあたっての具体的な手法は調査職員が指示するものとする。

1.5.5 スtock効果の基礎情報整理

企業活動などのStock効果を把握するために必要な各企業立地をはじめとする基礎の情報収集・整理を行うものとする。

1.5.6 沿線地域における基礎情報整理

1.5.4「東京外かく環状道路（関越～東名）の整備に伴う整備効果の整理」をより多角的な視点で整理するために必要な地域の施設配置状況等の情報収集・整理等を行うものとする。

1.5.7 報告書作成

本業務の報告書を作成するものとする。なお、提出する詳細なデータの内容及び提出方法については、調査職員と協議するものとする。